

認知症

65歳以上の7人に一人

認知症ってどんな病気？

① 認知症は健康寿命を短くする最大の原因疾患で、日本人の65歳以上の5～7人に一人は認知症とされています。

② 初めはもの忘れから症状がでることが多く、少しずつ進行して日常生活に支障をきたすようになります。

認知症ってどんな病気？

- ③ 一番多いのはアルツハイマー型認知症ですが、その他にも脳血管型、レビー小体型認知症等があります。
- ④ 現在は認知症を治す薬はないですが、進行を遅らせる薬がいくつかあります。
- ⑤ 早期に診断して、家族やケアマネ、介護スタッフ、地域全体で支える仕組み作りが重要となっています。

誰と話していたか分からない

■ 中核症状：記憶障害

即時記憶 - 60秒まで



近時記憶 - 数分後まで覚えている



遠隔記憶 - 昔のこと



記憶の種類を時間でわけた場合アルツハイマー病では、
おもに**近時記憶**が失われやすくなります。



自宅に帰れない

認知症

(健康寿命を短くする一番の原因)

- 65歳以上の7人に一人が認知症
- もの忘れから始まり、
- 少しずつ進行して、
- ひとり暮らしが困難となり、
- 介護が必要となる・・・

認知症は身近な病気

- 最近もの忘れが進んだ・・・
- 同居のお祖母ちゃんの様子が変だ・・・
- ひとり暮らしの父が一寸心配・・・

認知症になりやすい因子

- 高血圧
- 糖尿病
- 脂質異常症
- 肥満
- 喫煙

認知症になりにくい因子

- ボランティア活動をしている
- やりがいを持っている
- カロリー制限をしている
- 脳トレをしている
- 友人がたくさんいる

当クリニックでの取り組み

- 当院ではもの忘れ外来を開設して、患者さんと家族や介護者の方からお話を聞くことから始め、必要があればMRIや脳シンチなどの精密検査を遠軽厚生病院で施行してもらいます。
- その上で認知症の診断を行い、ケアマネや地域包括支援センター、介護スタッフと連携を密にとり、患者さんと家族に適した治療やサポートを行います。

もの忘れ外来の開設

- もの忘れ外来をやっています
- 希望の方はスタッフに相談下さい